

第37回 千葉県高等学校文化連盟放送コンテスト 募集要項

2024年10月1日

- 〈1〉期 日 令和6年11月16日(土)(アナウンス部門, 朗読部門予選 公開)・11月17日(日)(全部門本選 公開)
- 〈2〉時 間 9:00～17:30(受付 9:00～9:25)
- 〈3〉場 所 千葉県教育会館 大ホール (千葉市中央区中央4-13-10)
- 〈4〉主 催 千葉県高等学校文化連盟 千葉県高等学校文化連盟放送専門部会 千葉県
- 〈5〉共 催 千葉県高等学校教育研究会視聴覚部会 千葉県教育委員会 千葉県赤十字血液センター
- 〈6〉後 援 千葉市
- 〈7〉目 的 千葉県内の高等学校生徒による芸術文化活動の発表会を総合的に開催し, 創作活動の向上を図るとともに, 相互の交流を深めることにより芸術文化の創造に資する。
- 〈8〉実施部門 1)ビデオメッセージ(VM)部門 2)オーディオメッセージ(AM)部門
3)アナウンス部門 4)朗読部門
5)赤十字特設部門(RC部門 / RC=RedCross)※

※特設部門は千葉県独自の部門で, 全国大会や関東大会などの上位大会はありません。

優秀賞受賞者・受賞作品のうち上位のものは, **第49回全国高等学校総合文化祭(香川大会) 放送部門**へ推薦されます。

日時・会場: 令和7年(2025年) 7月 30日(水)～7月 31日(木) 三木町文化交流プラザ(香川県木田郡三木町)
全国大会推薦に次ぐ優秀賞受賞者・受賞作品は, **第22回関東地区高校放送コンクール**へ推薦されます。

日時・会場: 令和7年(2025年) 1月 26日(日) 昌賢学園まえばしホール(群馬県前橋市)

〈9〉参加費	アナウンス・朗読部門	1名につき	500円
	VM・AM部門	1作品	1,000円
	RC部門	1作品	500円

〈10〉参加要項

1. 参加資格

令和6年度(2024年度)に千葉県高等学校文化連盟放送専門部会に加盟している高等学校の1, 2学年の生徒およびその作品です。ただし, 以下の参加は認めません。

- ①「VM部門」・「AM部門」で, **昨年度 全国大会に推薦された学校が, 同一部門に参加すること。**
※昨年度, 優秀賞受賞校で関東大会に推薦された学校は同一部門に参加できます。
- ②「アナウンス部門」「朗読部門」で, **昨年度 全国大会に推薦された生徒が, 同一部門に参加すること。**
※昨年度の優秀賞受賞者で関東大会に推薦された生徒は同一部門に参加できます。
- ③ 同一人物が, 「アナウンス部門」「朗読部門」の両方に参加すること。
- ④ 「VM部門」「AM部門」「RC部門」いずれかにおいて, 同一部門に同一校が複数の作品を出品すること。
(※ 一つの部門につき, 1校1作品の出品に限ります)

2. アナウンス・朗読部門の予選免除

- ① 以下の条件を満たす者は, 予選を免除します。
 1. 今年度, NHH杯全国高校放送コンテスト(Nコン) アナウンス部門または朗読部門で**全国大会に出場した者**が, 本コンテストに参加する場合(部門は問いません)
 2. 昨年度, 高文連放送コンテスト アナウンス部門または朗読部門で**優秀賞を獲得した者**が, 本コンテストに参加する場合(ただし, 上記 1. 参加資格② に注意してください。)
- ②「優良賞」は, 予選に出場し, 予選を通過した者のみに授与されます。予選免除者に優良賞は授与されません。

3. 参加申し込み

千葉県高等学校文化連盟放送専門部会Webページ <http://chibakoubun-hoso.main.jp/> から申込用紙(「37entry」(エクセルファイル))をダウンロードし、募集要項を熟読の上、参加申込用紙に必要事項を入力し、**10月25日(金)までにメールの添付ファイルで**下記アドレスへお送り下さい。なお、ファイル名は、「37申込用紙〇〇高校」と書き換えてください。

(「参加に必要な書類」は10月にアップロードします。)

申込先のメールアドレスは、右の通りです。

(千葉県高文連放送専門部会申込専用アドレス)

chibakoubunhoso.entry@gmail.com

問い合わせ先 流通経済大学付属柏高等学校 志村 結城 04-7131-5611

上記の申し込み用メールアドレスでも問い合わせ可能です。

※申し込みをする前に、必ず、必要事項を入力した申込書をプリントアウトし、参加生徒に確認を行ってください。申し込み後の変更は認めません。(例年、生徒名、朗読作品、番組のタイトルなどが間違っている例があります) 内容、タイトル等はよく考え、確認の上、申し込んでください。

申し込み後の連絡は、申込書に記入されたメールアドレスで行いますので、申し込みもできるだけそのメールアドレス(担当顧問が直接お使いのメールアドレス)でお願いします。

また、複数の顧問がいる場合(特に当日の引率が変わる場合)は、全員のメールアドレスを記載してください。

申し込み締め切り日から2日以内に、「参加申込書」を受領した旨のメールをお送りします。

また、放送専門部会Web上に申し込み状況を随時表示します。

そのメールが届かない・Webに表示がない場合には、必ずご連絡下さい。

なお、参加申込みをした時点で、以下の4点に関して許諾を頂いたものとします。特別な事情で配慮が必要な場合のみ、顧問の先生を通じてご連絡ください。

- ① コンテスト終了後に入賞の結果(氏名・学校名)をWebに公開しますので、その旨の許諾。
- ② 本コンテストの様子が、千葉県ケーブルテレビ協議会加盟のケーブルテレビ局で放映される予定ですので、肖像権に関する許諾。
(特に、アナウンス・朗読の本選進出者の発表の様子が、そのまま放映されると思ってください)
- ③ VM部門の全国大会推薦作品が、ケーブルテレビ局で放映される予定ですので、放映に関する許諾。
VM部門の全作品が千葉テレビ放送「チバテレ チバミライチャンネル」で放映される予定ですので、放映に関する許諾。(作品中に登場する人物や資料等の許諾を得てください)
※AM部門の作品が、放映・放送できるかどうかは確認中ですが、同様に許諾を得てください。
- ④ RC部門の全作品が、千葉県内の献血会場で放送される予定です。(内容によっては放送できない場合もあります)

4. 受付

(期日) **11月16日(土)**

①【アナウンス・朗読部門】 参加者受付 **9:00～9:25 (時間厳守)**

受付で、参加者本人が予選番号と名前を申告してください。

また、当日の欠席がいる場合は、お知らせください。

※ 原稿の提出(2部ずつ)は、顧問の先生がまとめて、受付に提出してください。

※ 新型コロナウイルス関連で、来場が難しい参加者については、本要項のP.8以降を確認してください。

②【VM・AM・RC部門】 作品及び書類提出 **14:00～14:30 (時間厳守)**

※ 受付期間内であっても、いったん提出された動画ファイル・音声ファイル・書類はお返ししません。

また、再提出(新・旧ファイルの交換)もできません。

5. 参加要項

1) ビデオメッセージ(VM)部門

郷土(千葉県内に限る)に関する話題を取り上げた自校オリジナルのビデオ作品

(ビデオカメラ・スマートフォン等で撮影した映像を主体とした作品)

※校内の域にとどまっている話題は不可

※著作権が他の団体に帰属している作品や、他のコンクール(コンテスト)に応募した作品、およびそれと同一素材等を利用し改作した類似作品の参加は認めません。

〈規定〉

- ① 各校 1 作品を限度とします。
- ② 発表時間は **4分30秒以内** (作品の再生は、主催者が行います。)
- ③ 作品は、**MP4形式の動画ファイル**
(ファイル形式はH.264コーデック(H.264/MPEG-4 AVC, 拡張子はmp4), アスペクト比16:9, 解像度1920×1080ピクセル以下, フレームレート30fps(29.97fps)のみ)とする。
- ④ 番組の**前後に5秒ずつ「様式規定」にあるテストパターン**を入れること。
(計時は、始めのテストパターン終了時～終わりのテストパターンの始まりまで)
そのため、**テストパターンにフェード/トランジションのようなエフェクトをかけてはいけない。**
- ⑤ 音声は左右同じ音声とする。
音声を片方のチャンネルに振ったり、サラウンド設定にしたりするのは不可。
- ⑥ **制作した学校名を直接表示したり(タイトルも含む)、クレジットコールのように音声で学校名をコールしたりすることはしない。また、ナレーションの中に校名(略称を含め)が含まれることも認められません。**
ただし、作品の内容から学校名がわかることは差し支えありません。
※ **関東・全国大会ではこの制限はありませんので、全国・関東推薦が決まり作品を提出する際には作品の最後にクレジットを入れてください。**
- ⑦ 音楽や写真・資料などの著作物を作品内に取り入れる場合は、適切な処理を行わなければなりません。
P.4～P.5の **A) 音源を使用した場合、B) 音源以外の著作物を利用した場合**を確認し、手続き・出典の表示などを行ってください。
- ⑧ 動画ファイル名を「**VM学校名_タイトル**」とする。
↑
(半角アンダーバー) (例: VM流経大柏_千葉の放送の秘密.mp4)
- ⑨ USBメモリ または SDカードに動画ファイルを保存し、提出する。
(1作品につき、1本のメディアを使用すること。1メディアに他部門の作品(AM・RC)を入れない)
USBメモリまたはSDカードに、部門名、作品名、学校名がわかるようなラベルを付すこと。
(Webで提供されるラベル様式を使用してよい)

千葉テレビ放送よりお願い

提出作品は、順次 チバテレミライチャンネルにて放送を予定しています。制作の際は下記事項に注意の上、取材、編集をお願いいたします。なお、作品内容によっては放送されない場合がございますのでご了承をお願いいたします。

- ① 取材時にテレビ放送される旨を確認し、了承をとること。
- ② 公序良俗に反した表現、話題は避けること。
- ③ 特定の商品、店名などの映り込みに十分注意すること。

2) オーディオメッセージ(AM)部門

音声で表現する郷土(千葉県内に限る)に関する話題を取り上げた内容の自校オリジナル作品とする。

※音声のみの作品で、静止画像は使用できません。

※校内の域にとどまっている話題は不可

※著作権が他の団体に帰属している作品や、他のコンクール(コンテスト)に応募した作品、およびそれと同一素材等を利用して改作した類似作品の参加は認めません。

〈規定〉

- ① 各校 1 作品を限度とします。
- ② 発表時間は **4分以内**（作品の再生は、主催者が行います）
- ③ 作品は、MP3形式の音声ファイル（拡張子はmp3、ビットレートは128 kbps～256 kbps)とする。
- ④ 音声レベルは、一般の視聴に適した音量(－3dBくらいが目安)にすること。
- ⑤ 番組の前に5秒、後に5秒、それぞれ無音を入れること。
- ⑥ 番組の最後に「制作は〇〇高校放送部(等)でした」のようなクレジットを入れる。
クレジット時には、コール音声以外の音を入れないこと。
(計時は、始めの音が出たところ ～ クレジットコールの終わり)
- ⑦ 音声は左右同じ音声とする。 音声を片方のチャンネルに振るのは不可。
- ⑧ 音楽や資料音声(自分たちで収録した以外の音声)を作品内に取り入れる場合は、適切な処理を行わなければなりません。P.4～P.5の **A) 音源を使用した場合、B) 音源以外の著作物を利用した場合**を確認し、手続き・書類の提出などを行ってください。
- ⑨ 音声ファイル名を「AM学校名_タイトル」とします。

↑
(半角アンダーバー)
(例： AM流経大柏_千葉の放送の秘密.mp3)
- ⑩ USBメモリ または SDカードに音源ファイルを保存し、提出してください。
(1作品につき、1本のメディアを使用すること。1メディアに他部門の作品(VM・RC)を入れない)
USBメモリまたはSDカードに、部門名、作品名、学校名がわかるようなラベルを付すこと。
Webで提供されるラベル様式を使用してよい

【VM部門, AM部門 書類の提出】（※RC部門は、別途定めます）

- ① 表紙〔様式1-1〕・・・部門名・タイトル・再生時間・制作意図(200字程度)を記入します。
② 制作スタッフ・キャスト一覧表〔様式1-2〕
③ 「使用著作物一覧表〔様式1-3〕」に必要事項を記入したもの (※次ページの項目④も参照)
※「使用著作物一覧表〔様式1-3〕」の記入については、
NHK杯全国高校放送コンテスト「要項号」の『「権利処理一覧表」(記入例)』を参考のこと。
(「http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html」にもアップされています)

CUEシートの提出は、ありません。また、「取材許諾」は、一覧表に記載する必要はありません。

著作物の番号は、番組の進行に合わせた順番にしてください。

許諾が必要ない著作物の場合は、著作物番号を丸で囲ってください。 例) ⑤

- ④著作物を利用した場合の許諾書類（口頭許諾だけでなく、書面で許諾を得てください）

A) 音源を使用した場合

市販の音楽やWeb上の素材を利用する場合、以下の方法で著作権処理を行ってください。

- (1) 著作権フリーの素材を使う場合は、その旨を記載した部分(CDジャケットなど)のコピーを添付。
(株)アーキー・(有)EXインダストリー等、NHK杯で許容されている制作会社のものは不要

※NHK杯放送コンテストとの違い

- ア インターネットからのフリーダウンロード音源なども使えますが、
「フリーであることを示した部分」を印刷して添付すること。
- イ **NHK クリエイティブ・ライブラリー**の素材(動画・静止画・音楽・効果音等)は、
本コンテストでは**完全フリーではありません**。
VM作品では、作品中に該当箇所に「NHK」もしくは「NHKクリエイティブ・ライブラリー」
と表示してください。AM部門では、著作物一覧に記載するだけで構いません。

利用のルール <http://www1.nhk.or.jp/archives/creative/rule.html>

(次ページに続く)

- (2) 音源製作会社(CD 製作会社又はレコード会社)に「音源使用許諾申請書」を用いて使用許諾申請をしてください。許諾が得られない場合その楽曲は使用できません。

- ・レコード会社の音源使用許諾書〔様式3-1〕および回答書のコピー
- ・著作権者からの使用許諾書のコピー (JASRC管理の著作物については、「利用明細書」の写し)
- ・著作権フリーの条件を示した部分(書面)のコピー

※JASRC管理の音楽著作物の処理については、

URL「<http://www.jasrac.or.jp>」からダウンロードした専用の用紙やWeb申請(J-RAPP)を利用してください。

音楽に関する著作権については、JASRC(TEL.03-3481-2121, <http://www.jasrac.or.jp>)にお問い合わせください。

**JASRC管理の音楽著作物については各学校で手続きをお願いすることになって
いますので、間違いのないようお願いいたします。**

B) 音楽以外の著作物(写真・動画・収録音声・記事など)を利用した場合

- ・許諾を示す書類(様式3-2を使用するか、または同様の内容で許諾がいただけていれば書式は問いません。←新聞社などは、別途書式がある場合がありますので、そのコピーを提出)
- ・VM部門では、「資料提供:〇〇さん」・「〇〇市立博物館所蔵」のように、出典を字幕で表示すること。
- ・AM部門では、「〇〇さんからお借りした音声です」のように、ナレーションで説明すること。
- ・取材の許諾(出演許諾)については、特に書面での提出は求めませんが、後に取材対象の方や団体とトラブルにならないよう十分に説明し(無断での撮影はしないこと)、各校の責任において処理を行ってください。なお、万が一権利の侵害から生じるトラブルが発生した場合、本コンテスト運営委員会は、一切の責任を負いません。

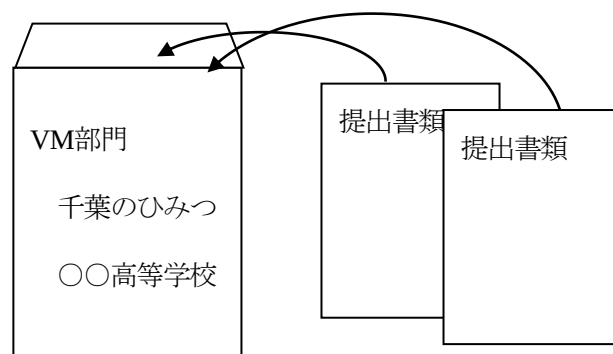
- ⑤ 書類の仕上がりは**A4サイズ**とし、**2部提出します**。(※主催者側で保管させていただきます。)
※本コンテストにおいて台本・CUEシートは提出不要です。

制作意図、制作スタッフ・キャスト一覧表、使用著作物一覧表、音楽著作権関連の用紙への記入は間違いのないよう十分に気をつけてください

※自作以外の著作物の複製を利用する場合は、著作権者に使用目的などを説明して理解と協力を求め、使用許可を得てください。また、プライバシー等の人権にも十分配慮しましょう。

- ⑥ 書類などは、角2サイズ程度の封筒に入れ、封筒の表面に部門名、作品名、学校名が分かるように記載してください。

書類は、11/18(土)の決められた時間に受付に持参してください。



3)アナウンス部門

郷土(千葉県内)の話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿

※ 校内の域にとどまっている話題は不可

※ 他のコンクール(コンテスト)に応募した原稿, それと同一素材等を利用し改作した類似原稿の参加は不可

〈規定〉

- ① 各校の参加数の制限はありません。
- ② 発表時間は, エントリー番号, 氏名を含めて**1分30秒以内**
- ③ タイトル, 学校名は言わないこと。(タイトルにも学校名は入れない)
- ④ 原稿の内容から学校名がわかることは差し支えありません。

※ 本コンテストで推薦を受け全国大会(総文祭)・関東大会で発表する場合には, **学校名は読むことになりす。**つまり, 発表時間は学校名も含めて1分30秒以内ですので, このことを考慮して原稿を作ってください。

※ 上位大会(全国大会・関東大会)での扱い

本コンテストで推薦を受け上位大会にて発表する場合には, 以下のようになります。

全国大会(総合文化祭)・・・ **学校名・氏名** を含めて1分30秒以内

関東大会・・・ **番号・学校名・氏名** を含めて1分30秒以内

また, 全国・関東では静止画(スライド)を併用することはできなくなりました。

【原稿の提出】

- ① 原稿様式は, 今回も**特別な様式**(Microsoft® Word 形式)を使用します。
必ず今年度の様式を使用してください。
- ② PCでファイルに必要事項を入力してください。
- ③ 予選の発表番号(11月初旬に発表)も必ず入力してください。
- ④ **2部印刷して**, 綴じずに, 顧問の先生が学校分をまとめて受付に提出してください。
(基本的に1枚に収まるはずですが, 原稿量が多く2枚目になる場合は綴じてください)

4)朗読部門

千葉県ゆかりの作家の作品 または **千葉県を舞台とした作品** の中から**原文のまま** 選ぶ

※古典作品の現代語訳は, 著作として出版されているものに限り認める。

高文連放送コンテストの主旨からして, 郷土色を表出している文章が望ましい

応募作品について, 申込み時に次の選択肢より一つ選んでください。

- ① 千葉県が舞台になっている場面(抽出箇所)
- ② 千葉県がその作品に大きく関わっていることが明らかな作品
(抽出箇所からは千葉の情報は読み取れないが, 千葉県が舞台である作品)
- ③ 千葉県出身の作家の作品
- ④ 千葉県の学校に通っていた, または千葉県内で仕事をしていた作家の作品

※②③④については千葉県以外の都道府県が特定される場面の朗読は認めない。

場所が特定されない, 架空の場所などの場合はその限りではありません。

①～④の選択で誤解を招く恐れがある場合は, そのことの説明文を申込書に書くことは可

※「場面」とは読む場面をさします。作品のどこかで千葉県が舞台となっている場面があっても, 読む場面が千葉県以外の場合は適当ではありません。

〈規定〉

- ① 各校の参加数の制限はありません。
- ② **学校名・作品名・作者名は言わないこと。**
- ③ 本選の発表時間は, エントリー番号, 氏名 を含めて**1分50秒以内**。
- ④ 予選の発表時間は, エントリー番号, 氏名 を含めて**1分30秒以内**で審査します。
 - ・「1分35秒」の時点でベルを鳴らします。ベルが鳴ったら途中でやめてください。
 - ・予選では, タイムオーバーによる減点はしません。
 - ・予選の原稿は, 本選で読む原稿の中から選び, どこから読んでもかまいません。ただし, **予選で読む箇所に, 赤ペンで傍線(下線)を付してください。**
予選と本選の原稿は同一のものを使用します。(予選通過者の原稿は, 運営側で預かります。)

＊ 上位大会(全国大会・関東大会)での扱い

本コンテストで推薦を受け上位大会にて発表する場合には、以下のようになります。

全国大会(総合文化祭)・・・ **作品本文のみ1分45秒**

(番号・学校名・氏名・作者名・作品名は読みません)

関東大会・・・ **番号・学校名・氏名・作者名・作品名を読むこと**になります。

発表時間は、2分程度ですが、本文の部分のみが1分45秒以内になるように
抽出箇所を選んで下さい。

また、全国・関東大会では効果音やBGMを併用することはできません。

【原稿の提出】

- ① 原稿様式は、今回も**特別な様式**(Microsoft® Word 形式)を使用します。
必ず今年度の様式を使用してください。
- ② PCでファイルに必要事項を入力してください。
- ③ 予選の発表番号(11月初旬に発表)も必ず入力してください。
- ④ **2部印刷して**、綴じずに、顧問の先生が学校分をまとめて受付に提出してください。
(基本的に1枚に収まるはずですが、原稿量が多く2枚目になる場合は綴じてください)

【(参考) アナウンス・朗読部門 対比表】

部 門	大会種別	原稿の前に発する項目(クレジット)と時間	画像/BGM
アナウンス 部 門	千葉県大会	番号, 氏名 を含め1分30秒以内	使用できません
	関東大会	番号, 学校名, 氏名 を含め1分30秒以内	使用できません
	総合文化祭 (全国大会)	学校名, 氏名 を含め1分30秒以内	使用できません
朗 読 部 門	千葉県大会	番号, 氏名 を含め1分30秒以内(予選) を含め1分50秒以内(本選)	使用できません
	関東大会	番号, 学校名, 氏名, 作者名, 作品名 を含め2分程度 (ただし、本文は1分45秒以内)	使用できません
	総合文化祭 (全国大会)	本文のみ 1分45秒以内	使用できません

千葉県高文連放送専門部会 イメージキャラクター 「ほのは」



性別：不明
年齢：秘密
住所：千葉県
好き：ピーナッツバター
嫌い：からまったコード
特技：光合成で機材を充電
趣味：菜の花畑でお昼寝

(注) 千葉県高等学校文化連盟放送専門部キャラクター(ほのは)の図案、キャラクターおよび設定は、森 加代子さん(作者)と千葉県高文連放送専門部会にあります。
本著作物の使用に関しては、著作権者の許諾が必要です。ただし、千葉県高等学校文化連盟放送専門部会に所属している団体が校内やコンテストなどで利用する際は、特に許諾は必要ありません。本著作物の改変に関しては著作権者の許諾が必要です。

5) 赤十字特設部門 RC部門

テーマは「行こう！献血！」。

高校生の視点で献血について独自に取材し、若年層をはじめ広く県民の皆さまに向けて献血の大切さや意義を伝える内容の自校オリジナルの音声のみの作品とする。（手法は問わない。）

※ 著作権が他の団体に帰属している作品や、他のコンクール(コンテスト)に応募した作品、およびそれと同一素材等を利用して改作した類似作品の参加は認めません。

〈規定〉

- ① 各校1作品を限度とする。
- ② 発表時間は 30 秒（クレジットを含め、30秒ぴったりの作品にすること）
- ③ 作品は、MP3形式の音声ファイル（拡張子はmp3、ビットレートは128 kbps～256 kbps)とする。
- ④ 音声レベルは、一般の視聴に適した音量(－3dBくらいが目安)にすること。
- ⑤ 番組の前に5秒、後に5秒、それぞれ無音を入れること。
- ⑥ 番組の最後に「制作は〇〇高校放送部(等)でした」のようなクレジットを入れる。
クレジットに、コール以外の音が重なっていても構わない。
(計時は、始めの音が出たところ ～ クレジットコールの終わり)
- ⑦ 音声は左右同じ音声とすること。音声を片方のチャンネルに振るのは不可。
- ⑧ NHK クリエイティブ・ライブラリーの素材は使用することができない。(利用規約に抵触するため)
- ⑨ 音楽や資料音声(自分たちで収録した以外の音声)を作品内に取り入れる場合は、適切な処理を行わなければなりません。P.4～P.5の **A) 音源を使用した場合、B) 音源以外の著作物を利用した場合**を確認し、手続き・書類の提出などを行ってください。
- ⑩ 音声ファイル名を「RC学校名_タイトル」とします。

↑
(半角アンダーバー)
(例: RC流経大柏_献血に行こう.mp3)
- ⑪ USBメモリ または SDカードに音源ファイルを保存し、提出してください。
(1作品につき、1本のメディアを使用すること。1メディアに他部門の作品(VM・AM)を入れない)
USBメモリまたはSDカードに、部門名、作品名、学校名がわかるようなラベルを付すこと。
Webで提供されるラベル様式を使用してよい



制作にあたって、千葉県赤十字血液センターからのお願い

提出いただいた作品(全てまたは一部)は、県内の献血広報等に広く活用いたします。皆さんの身近な人たちをはじめ、広く県民の皆さまの耳に留まり、「献血に行ってみよう!」と
思っただけのような素敵な作品をお待ちします。

制作の際は以下の事項に注意のうえ、取材、編集をお願いします。

(作品の内容によっては献血広報に活用されない場合があります)

- ① 取材をする際には、千葉県内の献血広報で作品が活用される旨を確認し、了承を得ること。
- ② 公序良俗に反した表現、話題は避けること。
- ③ 特定の企業名、商品名及び個人名などの固有名詞は使用しないこと。
- ④ 輸血を待つ患者さんが不安に感じてしまうような表現は使用しないこと。
例) 「輸血用の血液が不足」「輸血用血液がピンチ」「輸血用血液の危機」など
- ⑤ 献血ルーム等への取材申し込みや作品の表現について確認したい場合は、お問い合わせください。
- ⑥ 制作に入る前に、血液センター提供の「献血セミナー動画」を観て理解を深めてください。
また、個別にセミナーを実施することもできますので、お問い合わせください。

【RC部門 書類の提出】(VM/AM部門とは様式が異なりますので、注意してください)

- ① 表紙・【様式4-1】・・・タイトル・制作意図(200字程度)・スタッフ・キャスト一覧を記入。
制作スタッフ・キャスト一覧表
- ② シナリオ用紙【様式4-2】・・・音声の台本(音声を全て文字起こししたもの)
CUEシートではありませんので、著作物については記載する必要はありません。また、
時間も記載する必要はありません。
作品の進行に合わせた順番に合わせて、ナレーションやインタビュー、セリフなど音声と
して表現される部分を文字で表してください。
- ③ 「使用著作物一覧表【様式1-3】」に必要事項を記入したもの(VM・AM部門に準じます)
許諾が必要ない著作物の場合は、著作物番号を丸で囲ってください。 例) ⑤

6. 審査員 千葉県高等学校文化連盟放送専門部会が指名します。

＊「アナウンス部門」「朗読部門」の予選の審査は、
原則として参加校の顧問の先生全員にお願いする予定です。ご協力をお願いします。

7. 表彰

- ・優秀賞：VM部門 3, AM部門 2, アナウンス部門 6, 朗読部門 6, RC部門 1
- ・優良賞：VM部門 若干数, AM部門 若干数, アナウンス部門・朗読部門の本選出場者全員(予選免除者除く),
RC部門 若干数 (すべての部門の優秀賞受賞者を除く)
- ・奨励賞：VM部門, AM部門は若干数, アナウンス部門, 朗読部門の優良賞に次ぐ若干数

RC部門の表彰について

RC部門は、千葉県赤十字血液センターの共催による特別部門になります。そのため、表彰などの扱いが他の部門とは異なります。

- ① 優秀賞（1本）には、千葉県赤十字血液センターからの賞状とトロフィーが贈られます。
また、優秀賞に選ばれた学校には、副賞としてBAY FMでの春季献血ラジオCMの制作(原稿の作成及び収録・2月予定)にご参加いただけます。(人数制限あり。詳しくは受賞校に別途ご案内いたします。)
- ② 優良賞（若干数）には、千葉県赤十字血液センターからの賞状が贈られます。
- ③ 奨励賞の設定がありません。千葉県内の献血会場での放送をもって、賞的な扱いとします。

8. 全国・関東大会に推薦する作品数・人数

(優秀賞受賞作品から推薦されます。なお、RC部門は上位大会への推薦がありません。)

①全国大会に推薦する作品数

- 1) VM部門：2作品(各5名 計10名) 2) AM部門：1作品(5名)
- 3) アナウンス部門：3名 4) 朗読部門：3名

②関東大会に推薦する作品数

- 1) VM部門：1作品(5名) 2) AM部門：1作品(5名)
- 3) アナウンス部門：3名 4) 朗読部門：3名

※番組(VM・AM)部門では、全国・関東合わせて各校1作品までの推薦とします。

1つの学校が、全国大会の複数の部門(VM/AMの両方)や、全国大会・関東大会の両方に推薦されることはありません。

※個人(アナウンス・朗読の全体)部門では、全国大会は各校で1名までの推薦とします。

関東大会進出者数に上記の制限はありません。

9. 注 意

- ① 千葉県大会では審査の公平を期するために、作品から校名を排除する規定になっています。
(AM・RC部門は除く)

全国大会とは規定が異なります。もう一度ご確認ください。

- ② 故意でなくても、コンテスト中に携帯電話の着信音を鳴らす等のコンテストを妨げる行為があった場合には、その当事者を退場とします。なお、その当事者がアナウンス部門、朗読部門の発表者だった場合には、失格となる場合があります。VM・AM部門では、当該者の在籍校を失格とする場合があります。
- ③ アナウンス、朗読部門の本選発表順は、予選終了後本人の抽選(くじ引き)により決定します。
※予選免除者の抽選は、予選当日来られない者については、代理人の抽選も可です。
(代理人がいない場合は、主催者側で処理します。)
- ④ 全国・関東大会に推薦された場合、規定人数(生徒)分の旅費は、千葉県高文連が規定の金額を補助いたします。それ以外の費用については各学校等でご負担ください。
(詳細については、後日該当校に連絡いたします。)

① アナウンス・朗読部門の参加者本人が陽性となり、来場できない場合の対応

動画での審査で対応いたします。

- ・ビデオカメラ等で発表の様子を撮影し、mp4形式で保存し、データが記録されたUSBメモリまたはSDカードを顧問の先生が提出してください。
- ・カメラの種類・音質・画質は問いません(審査には影響しない)が、できるだけ高音質になるよう、また発表の背景に外部の音が入らないような工夫をしてください。カメラに内臓のマイク・外付けマイクなども問いません。
- ・撮影場所は自宅でも学校でも構いません。公式の大会として教育会館のステージで発表する代わりになりますので、服装は、制服(制服が指定されている学校のみ)で撮影して下さい。
- ・また、本選進出者の動画がケーブルテレビで放映される予定です。画面内にマイクが映り込んでいるのは構いませんが、発表者の周囲や背景にある物品や掲示物(特にロゴやキャラクター商品)などには十分気をつけてください。画面全体(特に発表者)の明るさなどにも気をつけましょう。背景に別映像を合成してはいけません。
- ・撮影した動画素材の編集は一切行ってはいけません。
カメラと音声用レコーダーを別撮り(録音)して、後で動画に重ねることも「編集」になりますので、行わないでください。
カメラの内臓マイクを使用または、カメラに外部マイクを接続しての使用のみ可能です。
- ・動画を再生してから(録画を開始してから) **第1声まで 3秒～5秒程度**になるよう、撮影時に工夫をしてください。発表終了後も5秒程度で終了(録画停止)してください。
- ・予選・本選ともに同一の動画素材を利用し、動画の最初から再生をします。
朗読部門は、**1分30秒は特に意識せずに1分50秒以内の発表を録画してください。**
予選では、主催者が1分35秒ごろに動画を停止し、読まれた箇所だけで審査を行います。
予選では、タイムオーバーによる減点はしません。

ファイル名は、「アナ**番号**学校名**氏名**」・「朗読**番号**学校名**氏名**」とします。

↑ ↑ (例: アナ09流经大柏_千葉ほのは.mp4)
(半角2桁) (半角アンダーバー) (例: 朗読24流经大柏_千葉ほのは.mp4)

② 会場の制限等

今のところ、特に制限を設ける予定はありません。

ただし、全国・地域的な感染状況の拡大など、配慮が必要になる場合は、別途制限をかけさせていただくこともあります。

また、会場は屋内です。当日、発熱や頭痛など体調がすぐれない場合、咳が止まらないなどコンテストの進行に影響が出るような場合は、来場しないでください。

他、学校や顧問の先生の判断で、良識ある行動をお願いします。

コンテストに関する問合せ先 流通経済大学附属柏高等学校 志村 結城

下記の申し込み用メールアドレスでも問い合わせ可能です。

chibakoubunhoso.entry@gmail.com